

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会

電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会(第23回)議事要旨

日時:平成30年5月18日(金)16時00分～18時00分

場所:経済産業省本館17階 国際会議室

出席者

<委員>

横山座長、秋元委員、大橋委員、大山委員、小宮山委員、曾我委員、武田委員、廣瀬委員、又吉委員、松村委員

<オブザーバー>

菅野 等	電源開発株式会社 常務執行役員
國松 亮一	一般社団法人日本卸電力取引所 企画業務部長
阪本 敏康	イーレックス株式会社 執行役員・経営企画部長
佐藤 悦緒	電力広域的運営推進機関 理事
新川 達也	電力・ガス取引監視等委員会事務局総務課長
竹廣 尚之	株式会社エネット 経営企画部長
棚澤 聡	東京ガス株式会社 執行役員 電力事業部長
内藤 直樹	関西電力株式会社 執行役員・総合エネルギー企画室長
鍋田 和宏	中部電力株式会社 執行役員 コーポレート本部 部長
柳生田 稔	昭和シェル石油株式会社 電力事業部門担当執行役員
山田 利之	東北電力株式会社 送配電カンパニー 電力システム部 技術担当部長

議題:

- (1) 容量市場について
- (2) 中間とりまとめについて

＜連絡先＞

経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力基盤整備課
TEL:03-3501-1511(内線4761) FAX:03-3501-3675
〒100-8931 東京都千代田区霞が関1-3-1

(1) 容量市場について

- 現行との Fit 制度との整合性が必要なのは理解しているが、データ揃ったあとの進め方（どのような整理をおこなっていくか等）について、早めに検討して欲しい。
- 事業の予見可能性から考えても、早く決めることが重要であるとする。また、そうすることが調達価格算定委員のミッションでもある。
- 担当部局とも相談しながら、早急に進めてまいりたい。

(2) 中間とりまとめについて

- ベースロード市場の監視について。小売価格の平均を見るということはおかしい。また、小売価格から託送料金を引いたもの卸としてみるというのはおかしい。小売料金にもサンクコストがあるかもしれない。小売平均価格で監視という緩い話はおかしい。
- 小売平均価格とすると、ピーク需要がほとんどであるような需要家も入る可能性がある。したがって、小売価格から託送コストだけでなく、ピークの価格を引く必要がある。つまり JEPX 価格を引くことが考えられる。このような理屈にあった形で検討すべき。リーズナブルな部分について、きちんと説明出来る水準でやるべき。
- また、事前に検証をして、明らかにおかしいとあらかじめ見ておく必要がある。小売平均価格を見るのであれば付加パターンを見る際、付加が低いものは余計な価格が入っている可能性があることを改めて注意する必要がある。
- 監視委員会できちんと見るということは必要。しかし、やり方一つ間違えると、小売価格が極端に低いといって、説明が付かないから価格の水準上げるという話になる可能性がある。これは、取り戻し営業の後に価格を上げる理屈となってしまう可能性があるため、このようなことのないように十分注意すべき。あくまで入札価格が高すぎないかという懸念ということを理解してもらいたい。
- 老朽化した火力発電所については、リプレイスされることについては歓迎だが、安直に休廃止を行うことを認めていいのかという懸念は残ってしまった。また、もし安直に休廃止を行うような事業者が現れた場合、その事業者はもちろんとし、そうなってしまうことに賛成した委員会にも責任があることは認識すべき。
- 既存契約見直し指針について。整理されたことに感謝。今後、指針に基づいて取り組みを行う。
- 市場設計全体に対して。大量導入小委の取りまとめも行われているように、各市場の外のところで、容量市場やバイオマス、ノンファーム接続をどうするのかという議論もある。

- システム改革の目的を踏まえ、全体を見て設計を行って欲しい。
- BL市場は、新電力へのBL電源へのアクセスを措置することで、新電力が安い電源を確保して、小売料金を下げ、小売環境の活性化を図るものである。
- P30の燃料価格の内数として、現行の「特定小売供給約款 料金算定規則（43条）」に準じて費用算出が行われるという前提に基づけば、燃料価格の参照期間は、直近3か月との理解でよいのか。もし想定コストを乗せることができるとすると際限なくコストが上振れする可能性があり。
- また、非稼働電源の固定費がコストに含まれるが、以前からお願いしていた高負荷需要を対象とした小売価格と整合のとれる価格設定かどうかについて事前に確認していただきたい。
- 常時BUについて。相対契約の交渉を行う際、常時BU価格が基準となってしまう、交渉を行う際の障壁である。経過的措置であることを鑑みて、廃止に向けた議論を進めてもらいたい。
- BL市場について。公営水力といった公営電源についても切り出しの対象としてもらいたい。
- 市場支配的な事業者による市場の価格操作を制限する等、引き続き検討をお願いしたい。
- 監視等委員会として、求められることを実施していきたい。容量市場のリクワイアメントについて、需給ひっ迫のおそれがあるときは、市場に応札することがリクワイアメントとして記載されているが、
- 容量市場の導入の趣旨に鑑みれば、平時も対象とすることとして議論する方がよいと考えている。また、起動に時間がかかる発電機もあるため、応札する市場は限定しない方がよいと考えている。相対契約との関係も考えていく必要があるため、引き続き検討を事務局と共同で検討を行っていく。
- BL市場の監視のあり方について。小売価格に比して卸価格が不当に高い場合を見るとのことだが、収支の付け替えを行っていないかどうかについて見る必要がある。
- 制度導入後に適切に見直しを行う必要がある。
- 今後も制度間の整合性をチェックしてもらいたい。
- BL市場について。前回BL市場で購入してもらえなければ意味がないと申し上げた。BL市場の監視で得られた価格情報で、卸価格、小売価格を監視とするのは反対。趣旨は理解するが、手間はかけない方がよい。
- BL市場について。監視のあり方では、プライススクイズ的な行為が問題とされた。卸料金は民々契約が含まれることに注意。
- 事後的に、プライススクイズ的な行為があるとどのように評価するのか。事業者がどう説明するのか。今後議論。
- BL市場について。イコールフットイングを達成するためには、長期の相対契約を取り上げて見てもらいたい。BL分に特化してみればいろいろ分かるはず。長期の相対契約を監視の対象としていれるべき。
- 事後監視であると、BL市場が動いてからの監視となるので、遅い。BL市場前に準備する必要がある。
- 新電力として、電源確保に関する環境整備を進めていくことが重要であり、マッチングのという考え方は非常に良いと考えている。また、電源の新設を検討している事業者としては、容量市場における複数年の契約

オプションの設定、系統アクセス業務透明化が重要と考えており、関係各所とともに検討を進めて欲しい。

- BL市場の監視。いくつかの市場の実効性を見る中で、監視は重要。より詳細な検討が必要。詳細は同時並行的に進んでいるところだが、横串を通すことが必要。
- 新電力の立場としては、供出価格の監視について懸念。P33の注にて、大枠のスキームが書かれているが、これについて異議はない。監視に係る判断基準を予め提示すべき。そして、提示した判断基準の案をパブコメして貰いたい。
- BL市場の監視について。固定費を含む卸価格と個別の交渉等に応じて設定する個別の小売価格は、本来ときには、一致しないと考えられる。なお、外部調達で効率の良い電源を使って調達することが考えられる。その際は、小売と卸の両者一体で見べきとあるので、バランスの取れた記述となっている。
- 不適切な場合、更なる監視の強化を含めた見直しを行うとあるので、これは評価できる。
- 各市場影響しあう。アデカシーのやり方に伴い、需給調整市場・容量市場について影響しあう。しっかり検討して貰いたい。
- 検討は今後も進むが、各市場の整合性が大事。複数の論点の影響を見るべき。
- 需給調整市場の設計は実需給までに調整力を確保することが重要。今回整理した詳細設計から異存はない。DRの検討も記載していただいておりますとおり、検討に協力したい。
- 今回の市場の運営主体等、一般送配電事業者として、システムの仕様、フロー等の検討をしているところ。引き続き、広域とも連携していきたい。
- 容量市場、需給調整市場など、考慮しながら安定供給に努めていきたい。
- 全体について違和感はない。出来る限り投資インセンティブが損なわれない形とするべき。
- 消費者にとって、望ましい形とするべき。ドイツの事例だと、環境整備によってかえって、小売が高くなってしまったことがあった。この点は注意すべき。
- BL市場の上限価格の考え方に対して、質問があったので回答する。燃料価格については、BL市場が一年間の固定価格であることを踏まえ、受け渡しの1年間の想定コストを入れることになると思料。なお、その監視については監視等委員会と共に検討することとなるが、事前・事後の両方で監視することになると思料。
- なお、容量市場のリクワイアメントについては、今後広域機関にて議論。
- また、BL市場の監視については今後の議論。制度趣旨として、イコールフットィングという意味を含め、いろいろな観点から検討を行う。詳細については、監視等委員会と共に議論する。